

From **Ibigawa S A B O**

平成24年度 キャンプ砂防in越美を開催

キャンプ砂防とは砂防を専攻する大学生や、砂防に関心を持つ大学院生及び大学生を対象に、砂防の意義や役割について、中山間地域に生活する人々と共同作業や生活を通じて体験的に学ぶことにより、砂防に対する認識を深め、重要性について理解することを目的に毎年夏に実施しています。

今年度は、岐阜大学の小島さん、三重大学の川崎さん、京都府立大学の山本さんの3名が参加され、8月20日(月)～24日(金)にかけて実施されました。

受講者は、砂防堰堤が出来るまでの流れを学習したり、八草川の山腹崩壊現場や東横山の地すべり地、既設砂防堰堤を利用した小水力発電実験などの見学を行いました。

また、揖斐川上流の土砂災害を知るため、揖斐川町の橋本東横山区長の話の聞いたり、最終日には、宗宮揖斐川町長による講話と懇談会が開催されました、面積比で93%の山間地を抱える揖斐川町の現状と課題、山間地の特性を生かした今後の方向性についてなど、貴重なお話を伺いました。



既設砂防堰堤を利用した小水力発電実験



揖斐川町長の講話と懇談会

工事現場体験を実施 = 宇津志谷 =

工事現場の施工体験として、本巣市根尾宇津志(ねおうつし)地先の宇津志谷第1砂防堰堤の工事現場で、工事の施工管理についての体験が行われました。

宇津志谷の現場を施工する杉山建設(株)の技術者の協力のもと、測量実習や実際に丁張(設置しようとする構造物の設置位置や高さを等を現地に表示するもの)を実際に設置する作業を体験しました。

実習では、トランシットなど器械の操作や釘打ちなど四苦八苦しながらの体験となりました。



丁張実習の様子

夏休みを利用して小学生らも来所

7月30日には、夏休みの宿題で土砂災害について調べていた池田町の河村君(温知小学校6年生)が、解らないことがあるため教えてほしいと来所されました。土砂災害の種類や発生原因、土砂災害に対する注意点、砂防施設の構造など事前に調べた内容をさらに深く探求しようと熱心に質問していました。



土砂災害について模型を使って体感する河村君

その他にも、8月8日には岐阜市にある木曽川上流河川事務所へインターンシップに訪れていた岐阜高専の河村さんら3名が、当事務所が行う砂防事業など揖斐川上流域調査として見学訪れました。

砂場の砂を交換 = 内谷 =

揖斐川町外津汲(とつくみ)地先の内谷(うちたに)で外津汲内谷第1砂防堰堤を施工する(株)所組が、地域貢献の一環として、二学期の始まる前の8月24日(金)に堰堤を施工する地元の久瀬小学校及び久瀬中学校の校庭の砂の入れ替え作業を行いました。

新しく入れ替わった砂場では早速児童等の元気な笑顔を見ることが出来ました。



久瀬小学校の砂入替の様子

揖斐川第一出張所との合同安全パトロールを開催

当事務所では、直轄砂防工事等における安全衛生思想の高揚と啓発を図り、もって労働災害を防止し、工事等を安全に推進するために、事務所及び工事等の受注者により越美山系砂防事務所安全協議会を結成しています。

協議会では、毎月1回現場安全協議会を開催し、各現場の安全パトロールを実施しており、事務所職員や各現場の技術者が各現場内を点検し、労働安全防止に向けた指摘や各現場の工夫点等を学び各自が施工する現場で生かしています。

8月期の現場安全協議会は、同じ揖斐川町内にある、木曾川上流河川事務所の揖斐川第一出張所と合同安全パトロールを8月20日(月)に実施しました。砂防の現場だけでなく河川の現場など違った視点から、労働安全防止に向けて現場点検を行いました。



外津汲内谷の工事現場点検

渓流保全工の工事着手へ = ドン谷 =

揖斐川町坂内諸家(さかうちもろか)地先のドン谷における渓流保全工(けいりゅうほぜんこう)の平成24年度工事に着手します。

ドン谷は、土砂災害が発生する恐れがある土石流危険渓流であり、流出する土砂を捕捉するために2基目の砂防堰堤として、平成22年1月に白川第2砂防堰堤が完成しました。

ドン谷渓流保全工は、この白川第2砂防堰堤から下流の県道揖斐高原線までの諸家集落内を流れる約250mの区間で流下断面を確保するために、平成22年度より渓流保全工の工事に着手しました。今年度は上流部より約70mの区間の工事を行う予定で、施工は西建産業㈱が行います。



工事着工に先立ち8月27日に地元説明会を開催

八草川山腹崩壊の本復旧工事着手へ

揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先の八草(はっそう)川山腹工事に着手します。

本工事は平成22年1月に山腹崩壊が発生し、崩壊した土砂が一部八草川を塞ぎ止めました。昨年度までに応急対策が完了し、今年度より本復旧工事に着手します。工事は平成25年の末までの2ヶ年で施工する予定で、施工は㈱久保田工務店が行います。

現地は3m以上の積雪地帯であり、施工には困難が予想されますが、早期復旧を目指します。



H22 応急復旧工事の様子

岡島橋が開通

8月22日(木)に岐阜県が進めてきた、揖斐川に架かる岡島橋(揖斐川町下岡島~三輪地先)の架け替えに伴う新橋の開通式が、岐阜県知事、中部地方整備局長らが臨席し行われました。

新橋により、主要道路である国道417号の安全でスムーズな車の流れが期待でき、揖斐川町を含むこの地域一帯の発展が期待されます。



巨大ジャングルジム? = 瀬戸谷 =

揖斐川町日坂(ひさか)地先で建設を進めている瀬戸谷(せとだに)第1砂防堰堤工事(施工:㈱山辰組)には、巨大なジャングルジム(?)が出現しました。

これは、格子形鋼製砂防堰堤です。透過型砂防堰堤の特徴は、通常時に流出する無害な土砂は下流へ流し、堆砂容量を確保し、土石流発生時などには土砂や流木を捕捉し、下流の人家等土砂災害等から守ります。



鋼製堰堤の組み立て状況



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp

平成24年度 キャンプ砂防in越美 工事現場見学

キャンプ砂防とは砂防を専攻する大学生や、砂防に関心を持つ大学院生及び大学生を対象に、砂防の意義や役割について、中山間地域に生活する人々と共同作業や生活を通じて体験的に学ぶことにより、砂防に対する認識を深め、重要性について理解することを目的に毎年夏に実施しています。

今年度は、岐阜大学の小島さん、三重大大学の川崎さん、京都府立大学の山本さんの3名が参加され、8月20日(月)～24日(金)にかけて実施さ、4日目の23日(木)には揖斐川砂防出張所管内で行われている工事現場見学が行われました。



越波谷では最大粒径調査を実施

敷原谷では砂防ソイルセメント工法について学習



外津汲内谷では砂防堰堤の施工方法を見学
(施工：(株)所組)



大蔵谷では断層破碎帯の法面対策を見学
(施工：(株)久保田工務店)



宇津志谷では測量実習及び丁張体験を実施



レベルを使った高さ計測



最先端測量技術「TC」の説明



ヘッピー腰でヌキ打ち



設置した丁張の精度を確認



完成した丁張の前で記念撮影
指導していただいた杉山建設(株)の皆様ありがとうございました